

# 感染症週報 [ 市内週報 平成21年第48週 ]

結核・感染症発生動向調査

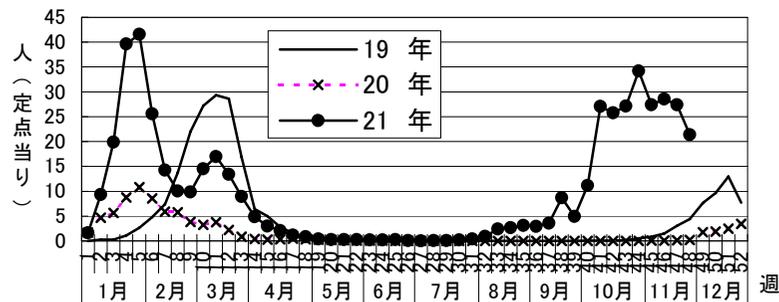
平成21年12月1日

平成21年第48週感染症発生状況【川崎市内】

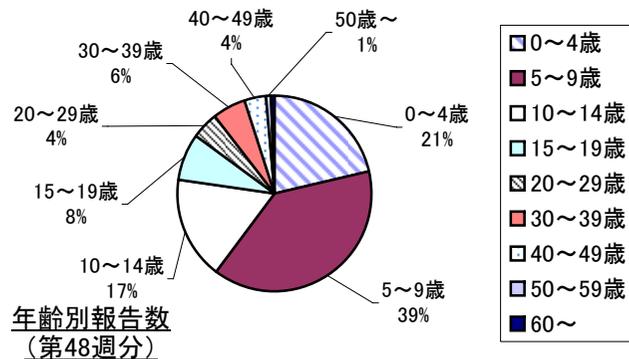
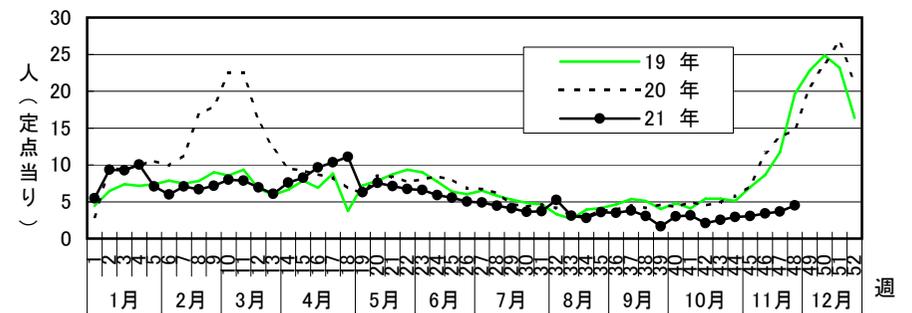
平成21年11月23日～平成21年11月29日

5類感染症(定点把握疾患)	全数把握疾患	届 出	累計(平成21年第1週以降)
<p>第48週で報告数の多かった疾病は、1) インフルエンザ 2) 感染性胃腸炎 3) 水痘となっています。</p> <p>インフルエンザは、定点あたり21.39と前週より報告数は減少しました。ただし、宮前区では患者数が増加しており、また宮前区と多摩区では警戒レベル(定点あたり30)を超えていますので、患者の地区別の発生状況についても注意が必要です。</p> <p>腸管出血性大腸菌感染症の届出が2件(①感染原因：不明、推定感染経路：川崎市、②感染原因：不明、推定感染経路：川崎市)ありました。</p> <p>麻しんの届出が1件(感染原因：不明、推定感染経路：川崎市)がありました。</p> <p>《新型インフルエンザの届出について》</p> <p>8月25日より感染症法に基づく医師の届出が当面の間、不要となりました。現在、報告のあるインフルエンザのほとんどは新型インフルエンザと推測されます。</p>	1類感染症	なし	なし
	2類感染症	結核 5件	結核 346件
	3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症 2件	細菌性赤痢 4件、腸チフス 1件 腸管出血性大腸菌感染症 30件
	4類感染症	なし	A型肝炎 1件、オウム病 1件 つつが虫病 1件 デング熱 1件、レジオネラ症 6件
	5類感染症	麻しん 1件	アメーバ赤痢 8件 ウイルス性肝炎 2件、急性脳炎 2件 クロイツフェルト・ヤコブ病 1件 劇症型溶血性レンサ球菌感染症 3件 後天性免疫不全症候群 14件、ジアルジア症 2件 髄膜炎菌性髄膜炎 1件、梅毒 5件、 風しん 1件、麻しん 25件

インフルエンザ発生状況(3年間)



感染性胃腸炎発生状況(3年間)



水痘発生状況(3年間)

